

# 令和4年度 第3回

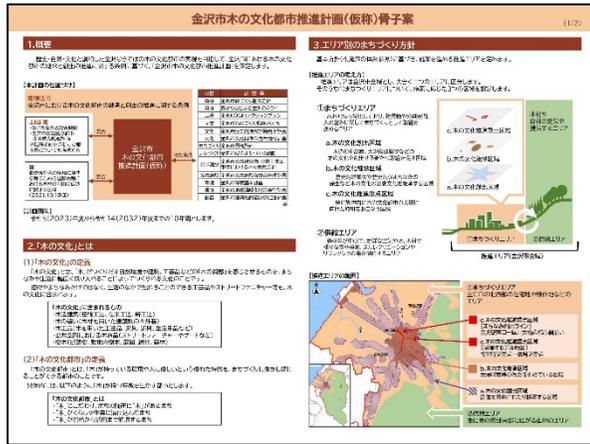
## 木の文化都市を継承・創出する金沢会議

令和5年3月2日

1. 金沢市木の文化都市推進計画（案）について
2. 令和4年度事業について
3. 令和5年度事業（案）について

# 1. 金沢市木の文化都市推進計画（案）について

## 1-1. 計画にいただいたご意見



### パブリックコメントの実施結果

- ・ 実施期間：令和4年12月20日～令和5年1月18日
- ・ 意見総数：15件（5人）
- ・ 提出方法：電子メール（3人）、窓口持参（2人）

### パブリックコメントの内容内訳

分類	件数
ア 御意見を踏まえ、計画に反映したもの	5件
イ 計画に賛同いただいているもの	2件
ウ 御意見の趣旨がすでに素案や関連計画に含まれているもの	2件
エ 計画の施策に関する御意見で、今後の参考とさせていただくもの	6件

合計 15件

# 1. 金沢市木の文化都市推進計画（案）について

## 1-1. 計画にいただいたご意見（パブコメ結果）

No	ご意見の概要	金沢市の考え方
<b>木の文化都市の推進全般について … 2件</b>		
1	計画期間が10年となっているが、 <u>もっと長期とすべきではないか。</u>	条例に基づく本計画の計画期間は10年だが、各種施策を推進しながら社会情勢の変化に応じ、 <u>見直しを行いながら長期にわたり取組を進めていく。</u>
<b>エリア別のまちづくり方針について … 1件</b>		
2	重点区域は <u>防火地域</u> であり、耐火建築物の木質化、木造をどのように <u>設計</u> すればよいか <u>支援が必要ではないか。</u>	令和4年度実施の防火地域での4階建木造ビルの仮想設計で得られた技術的な知見を基に、 <u>木造化に向けた様々な課題の解決策や木質化の手法について発信していく。</u>
<b>施策の方向性について … 9件</b>		
3	<u>森林所有者の林業所得が低く、森林管理の意識が低いと聞いたことがある。</u> 市産木材の利用促進がこれらの改善につながると思う。	ドローンやICTを活用した <u>スマート林業の推進により、林業の収益力の向上を図る</u> ことで、市産木材の需給体制を充実させていく。
<b>その他 … 3件</b>		
4	木の文化都市 <u>基金制度</u> により、 <u>木造建築のメンテナンス経費に充てる</u> ことが必要である。	木造建築のメンテナンスは重要だと考えており、 <u>いただいたご意見を参考に、木の文化の継承と発展に向けて取り組んでいく。</u>

# 1. 金沢市木の文化都市推進計画（案）について

## 1 - 2. 計画の全体構成

### 第1章 はじめに

1. 計画策定の目的
2. 計画区域と期間、位置づけ

### 第2章 木の文化とは

1. 木の文化と木の文化都市の定義
2. 金沢市が木の文化都市を目指す意義
3. 金沢市のまちづくりと木の文化
4. 木の文化都市を目指して

### 第3章 現状と課題

1. 木の文化の普及に向けて
2. くらしにおける木の文化の現状と課題
3. 木の文化都市を構成する建物・空間の現状と課題
4. 木の文化を支える木材の供給や循環
5. 課題のまとめ

### 第4章 計画の目指す姿と施策の展開

1. 計画の目指す姿
2. 計画の基本方針
3. 施策の方向性
4. 計画の目標と成果指標

### 第5章 エリア別のまちづくり方針

1. エリア設定の考え方
2. まちづくりエリアの目指す姿
3. もりづくりエリア（供給エリア）の目指す姿

### 第6章 推進体制

1. 推進体制
2. 進行管理

### 資料

金沢市における木の文化都市の継承と創出の推進に関する条例  
用語集  
木の文化取組年表  
計画策定経過  
木の文化都市を継承・創出する金沢会議 委員名簿

# 1. 金沢市木の文化都市推進計画（案）について

## 1-3. 施策の方向性

- ✓ 12月金沢会議での意見を反映
- ✓ パブリックコメント意見を反映

### 目指す姿 木の文化を感じられる暮らしとまちをつくる

▼基本方針	▼施策の方向性	▼具体的な取組	▼取組の内容
<b>継承</b> 金沢の歴史と文化に根ざした木の文化を継承する	1. 木の文化を知る・理解する	(1)木の文化について情報を発信する	ア)市民、事業者らに広く木の文化の情報を発信し理解を広める イ)次世代に木の文化を発信する
	2. 木を仕事にする、日々の暮らしに活用する	(2)木材や森林などに触れる機会を提供する	ア)市民、事業者らに木材や森林に親しむ機会を提供する イ)次世代が木材や森林に親しめる機会を提供する
		(1)木に関わり、仕事にする	ア)木の文化を継承・創出する担い手を育成する イ)森を活かし、まちとつなぐ担い手を育成する ウ)木の文化を支える様々な分野の仕事をつくる
		(2)木をつかった製品・工芸、技術を事業活動に取り入れる	ア)製品やサービスなどの事業活動に木を取り入れるよう促す イ)新たな木を活かした製品・工芸を創出する
	3. 木をつかった建物や空間をまもる・つくる	(3)木をつかった製品・工芸、技術を日々の暮らしに取り入れる	ア)木をつかった製品・工芸、技術への理解・関心を深める イ)木をつかった製品・工芸を日々の生活や職場に取り入れるように促す
(1)木の文化をつたえる建築物や空間を継承する		ア)歴史的建築物の保全と活用及び歴史的まちなみを保全する イ)歴史的な庭園など緑を保全する	
(2)民間施設などでの木の利用を促進する		ア)民間施設などの中高層・大規模建築物の木造化を促進する イ)民間施設などにおいて、内外装の木質化など木が感じられる環境整備を促進する ウ)木の文化を感じることができる住宅の建築を促進する	
(3)市の施設において積極的に木を利用する		ア)市の施設の木造化を進める イ)市の施設で内外装の木質化など、木が感じられる環境を整備する ウ)市の施設で利用する備品などに木材を積極的に利用する	
4. 森とまちの好循環をつくる	(4)公園や街路などの公共空間に木を活かす	ア)緑(樹木)を感じられる公共空間をつくる イ)公共空間に木の質感を取り入れる	
	(1)まちと暮らしを支える森を整備する	ア)森林の整備保全を進める イ)持続可能な森のサイクルを確立する	
5. 木の文化を担う主体がつながり、ともに推進していく	(2)森の恵みを積極的に活用し、森を循環的に更新する	ア)地域産材などの木材需給体制を充実する イ)まちに森の恵みを活かす ウ)新しい林業の仕組みを創出する	
	(1)木をめぐる関係者の連携を進める	ア)専門家の意見を活かし、新たな推進体制を構築する イ)川上から川下までの情報連絡・連携を進める	
	(2)産学官が連携し、木の文化の推進に取り組む	ア)事業者らと連携し、ともに推進する イ)大学・研究機関と連携し、ともに推進する	
	(3)広く関係自治体と連携し、木の文化を推進する	ア)先進自治体や周辺自治体と連携し、ともに推進する イ)国・県と連携し、ともに推進する	

# 1. 金沢市木の文化都市推進計画（案）について

## 1-4. 指標の設定について

木の文化都市推進計画（R05～R14）

次期推進計画？（R15～）

目指す姿

木の文化を感じられるくらしとまちをつくる

施策の方向性に基づき、目指す姿に向けて取り組みを進める

▼施策の方向性▼

1. 木の文化を知る・理解する
2. 木を仕事にする、日々のくらしに活用する
3. 木をつかった建物や空間をまもる・つくる
4. 森とまちの好循環をつくる
5. 木の文化を担う主体がつながり、ともに推進していく

### 1. 観測指標

要因の分析や対応策の検討、状況などの把握のための指標

→施策の実施状況进行评估

### 2. 成果指標

目指す姿に向けた達成状況を定量的に図る指標

→施策の方向性の見直しや、次期計画の検討のために活用

# 1. 金沢市木の文化都市推進計画（案）について

## 1-5. 観測指標の設定について 注) 下線:関連計画で設定している指標

▼施策の方向性▼

観測指標	現況値	目標値
<b>1. 木の文化を知る・理解する</b> 1 <u>森林イベント参加者数(年間)</u> <small>←金沢の農業と森づくりプラン2025</small>	2,318人 (R3)	8,000人 (R7)
<b>2. 木を仕事にする、日々の暮らしに活用する</b> 2 林業大学校、職人大学校の修了者数(累計)	林業94人 職大660人 (R4)	林業159人 職大968人 (R14)
	木に関わる産業による売上(収入)割合 <small>←経済センサス</small>	集計 (H28)
<b>3. 木をつかった建物や空間をまもる・つくる</b> 3 <u>非住宅建築物の木造化率(延べ床面積ベース)</u> <small>←いしかわ森林・林業・木材産業振興ビジョン2021 ←現況値は着工統計による金沢市内</small>	7.9% (R2)	16% (R12)
	4 <u>公共事業における木材使用量(年間)</u> <small>←金沢の農業と森づくりプラン2025</small>	512m <sup>3</sup> (R3)
<b>4. 森とまちの好循環をつくる</b> 4 <u>金沢産材供給量(年間)</u> <small>←金沢の農業と森づくりプラン2025 ←金沢市住生活基本計画(第4次)</small>	6,657m <sup>3</sup> (R3)	6,950m <sup>3</sup> (R13)
	<b>5. 木の文化を担う主体がつながり、ともに推進していく</b> 5 「木の文化都市・金沢」推進事業者数	0事業者 (R4)

施策の実施状況を評価

\* 金沢の農業と森づくりプラン2025 (R7) に依る指標 (R7) については改定時連動して目標値を見直す

# 1. 金沢市木の文化都市推進計画（案）について

## 1-6. 成果指標の設定について

目指す姿  
木の文化を感じられる  
くらしとまちをつくる

施策の効果を評価

### 2. 成果指標: 目標の達成状況を定量的に図る指標

成果指標	現況値	目標値
A. 木材利用等に関する市民意識 ←金沢市eモニター	— (R5~)	世論調査(全国 値)を上回る (R14)

<項目例：森林と生活に関する世論調査 項目抜粋（内閣府実施）>

Q9 あなたが仮に、今後、住宅を建てたり買ったりする場合、どのような住宅を選びたいと思いますか。

Q11 あなたは、様々な建物や製品に木材を利用すべきだと思いますか。あるいは利用すべきではないと思いますか。

## 金沢会議

1. 金沢市木の文化都市推進計画（案）について
2. 令和4年度事業について
3. 令和5年度事業（案）について

## 2. 令和4年度事業について

### 2-1. 「木の文化都市・金沢 推進事業者」の登録について

まちなみや生活、事業活動に木を幅広く活用する事業者様を公募・登録し、その取組を市と事業者が連携して発信するもの。

木を生かした事業活動を推進することで、環境負荷の低減や循環型社会の形成に寄与するとともに、木を使うという市民意識の醸成につなげる。

→現在 8 件登録



	事業者名	主たる事業	推進事業者としての取組内容
1	一般社団法人 石川県木造住宅協会	木造住宅の普及、 生産技術の向上	「木の家」住宅展・見学会により木の魅力を発信、木育イベントの実施
2	加賀木材グループ	木材加工、販売	森への恩返しプロジェクトとしてTUKURUイベントを開催（植林、木育など） NOTOHIBA FESTAを開催（DIY、端材で建築大会など）
3	特定非営利活動法人 くくのち	里山の環境保全	親子で木や森について学ぶ催しを開催
4	コウハチロウ工房	木工製品の製作	木工作品の職域展示会の実施／木工遊具の保育園への寄付 木の端材を活用した子供向け工作教室の開催
5	株式会社小松製作所 金沢工場	建設機械、産業機械の製造、 販売	森林の保全活動を実施（栗崎やすらぎの林）植栽、下草刈り、枝打ち
6	フルタニランバー株式会社	木材加工、販売	木が丸太から製品になるまでを疑似体験できるボードゲームを使った木育活動 能登ヒバで作った楽器を活用したコンサートイベント
7	北國フィナンシャル ホールディングス	銀行業	木製ATMの制作・機器運営／木造店舗の建築
8	みづほ工業株式会社	住宅、商業施設等の建設	本社の壁面緑化、木製ベンチの設置・維持管理 木育ワークショップの開催

## 2. 令和4年度事業について

### 2-2. 尾張町モデル地区での中層木造仮想設計

#### <コンセプト>

伝統と現代が共存する尾張町界限において、新たな純木造のオフィス・店舗ビルを計画することで、木の文化都市の実現に向けたまちなみの創出を目指す。

1. 木の文化都市をまちに現す。
2. 「木に彩られた」豊かなまちなみをつくる。
3. 「木の空間」での営みをまちなみに醸し出す。

#### <概要>

用途	1階：店舗、2～4階：事務所
所在地	金沢市尾張町地内（具体的敷地は設定しない）
階数	地上4階
高さ	14.2m
延床面積	520m <sup>2</sup>
構造	木造（大断面集成材構法）
工期	約9カ月
木材利用量	約110m <sup>3</sup> （うち構造材90m <sup>3</sup> ）
木材種別	構造材（県産材能登ヒバ・カラマツ）内外装（県産材スギ）

## 2. 令和4年度事業について



## 2. 令和4年度事業について



## 2. 令和4年度事業について

### <技術上の検討内容>

#### 構造検討

- ・ 木材使用の観点から、純木造（大断面集成材構法）としている。
- ・ 見せる耐力壁として耐力の高いCLTを用い、部分的に光を取り込む格子状の耐力壁を使用した。
- ・ 実施にあたっては鋼材内蔵型ハイブリッド工法や、ファサード面へ部分的に木造を使用する混構造を選択することもありうる。

#### 防耐火検討

- ・ 耐火被覆を確保した上に、木仕上げとすることで、耐火構造とした。
- ・ 内部については内装制限を受けるが、天井を準不燃木材とすることで壁に木を使用している。
- ・ 耐火建築物を目指し4階での検討としたが、3階であれば、燃えしろ設計も可能となるため、実施にあたっては階数を抑える選択もある。

#### 施工検討

- ・ 工期を比較すると木造は約9か月で、鉄骨造は約10.5か月、RC造は12か月に比べて短かった。
- ・ 耐火被覆が他構造に比べ期間を要するが、他工程と重複可能なこともあり短縮された。
- ・ RC造は各階の養生期間が必要で、鉄骨では加工期間が現在長期化する傾向もあり、この点も有利に働いた。

#### 調達にかかる検討

- ・ 想定される木材量は110m<sup>3</sup>（構造材90m<sup>3</sup>+内外装20m<sup>3</sup>）通常の調達で大きな問題はない。
- ・ 金沢産材のスギは内外装材に使用し、県産材の能登ヒバもしくは国産材のカラマツを構造材に使用。
- ・ 県産材の使用に限定した場合、国産材よりも若干割高（全体の約1%UP）になるとみられる。

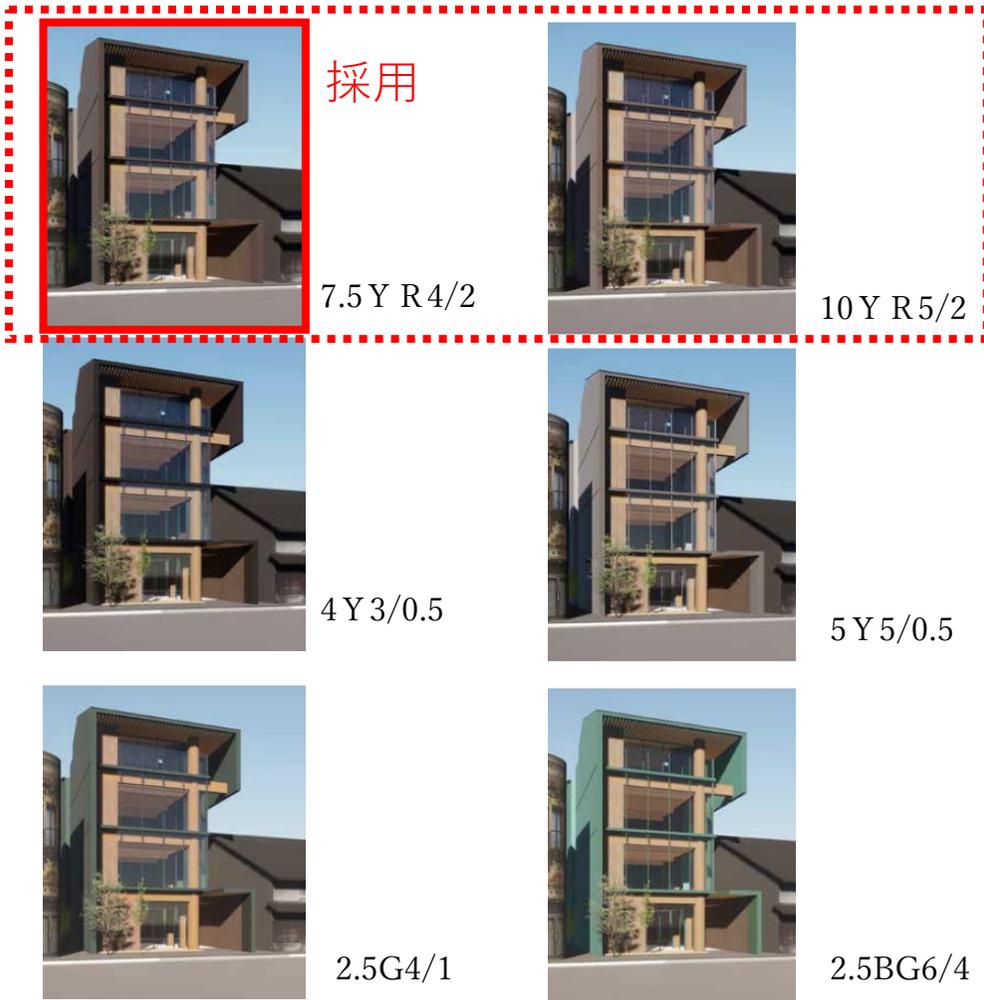
#### その他の検討

- ・ 計画では木造の床を選択しているが、上下階の用途によっては遮音性能について注意を要する。

# 2. 令和4年度事業について

## < 外観意匠の検討 >

外観色彩については木架構が映える落ち着いた色彩で、尾張町周辺の町家等の調和を検討し推奨色のうち、明度4程度のものを選択した。



## < コストの検討 >

鉄骨造に比べて、木造とした場合に**10%UP**  
 県産材を使用する場合は**11%UP**  
 おおむね1割のコストアップとなる。

	木造 (県産材)	木造 (国産材)	鉄骨造	鉄筋コンク リート造
工事費	2億9,800万円	2億9,500万円	2億6,800万円	2億4,700万円
坪単価	189.9万円	187.6万円	170.6万円	157.2万円
鉄骨造との比較	3,000万円UP (11%UP)	2,700万円UP (10%UP)	●	—
鉄筋コンクリート造との比較	5,100万円UP (21%UP)	4,800万円UP (19%UP)	—	●

### < 条件等 >

- 520m<sup>2</sup>の同規模・同用途の建物として検討
- 令和4年10月時点のコスト情報による
- いずれの構造も内・外部に木質化を実施する想定

## 2. 令和4年度事業について

### <木造中層建築実現に向けた課題>

木造中層建築実現に向けた課題	課題解決に向けた今後の対応
<p>事業者への支援</p> <p>他構造に比べ木造化の1~2割のコストアップとなり、木造・木質化について積極的に取り組めるような、建設費補助などの支援が求められる。</p>	<p>民間による中高層・大規模木造建築の実現に向けた効果的な支援策の検討</p>
<p>木造・木質化の社会的な理解促進</p> <p>木の文化の推進のほか、環境配慮、炭素排出量、炭素固定量の観点からくる社会的な意義について広く理解されることが求められる。</p>	<p>事業者に向けた木造建築の意義・魅力の発信</p>
<p>設計者の育成支援</p> <p>現状では木造の中高層・大規模木造建築に取り組んだ経験のない設計者が多く、これらに積極的に取り組めるよう講習会や資料の整備等が求められる。</p>	<p>設計者に向けた中高層・大規模木造建築に関する技術講習会の開催</p>

1. 金沢市木の文化都市推進計画（案）について
2. 令和4年度事業について
3. 令和5年度事業（案）について

# 3. 令和5年度事業（案）について

## 1. 「木の文化」を知る・理解する

(1) 木の文化について情報を発信する

(2) 木材や森林などに触れる機会を提供する

### 金沢建築文化フェスタ開催事業

国民文化祭事業として、従来の建築文化会議の開催に加え、セミナーや子供向けワークショップ等を実施することにより、幅広い世代に建築まちづくりの魅力を発信する。

建築文化セミナーは、「木の文化都市」をテーマとして開催する。

### 木育授業支援

木の文化の魅力発信の取組に、特別授業の一つ「積み木で街づくりチャレンジ」のサポートを行う。地元産の木材を加工した積み木材料を提供するとともに、完成した作品を展示し「けんせつの魅力」と「木の文化の魅力」を伝える。



文化絢爛 ふんかけらん  
第38回国民文化祭 第23回全国障害芸術文化祭  
いしかわ百万石文化祭  
2023  
令和5年10月14日(土)～11月26日(日)



# 3. 令和5年度事業（案）について

## 2. 木を仕事にする、 日々の暮らしに活用する

- (1) 木に関わり、仕事にする
- (2) 木をつかった製品・工芸、技術を事業活動に取り入れる
- (3) 木をつかった製品・工芸、技術を日々の暮らしに取り入れる

### 新たな林業と中山間地域の担い手育成事業

地域おこし協力隊制度を活用し、自伐型林業をしながら地域活動の担い手となる人材を募集し、里山の持続的な活用や、中山間地域の活性化を図る。



森林と地域の好循環を生み出す

### 木造建築人材育成事業

木の文化の普及に向けた理解促進に努め、建築物の木造・木質化を推進するため、中高層・大規模木造建築に関する技術講習会を開催し、木造耐火建築を設計する地元の民間建築士を育成・支援する。



# 3. 令和5年度事業（案）について

## 3.木をつかった建物や空間を まもる・つくる

- (1) 木の文化をつたえる建築物や空間を継承する
- (2) 民間施設等での木の利用を促進する
- (3) 市の施設において積極的に木を利用する
- (4) 公園や街路などの公共空間に木を活かす

### 木の文化都市・金沢民間活力推進事業

民間施設における木の利用促進に向けた課題解決の検討や立地可能性調査を実施する。

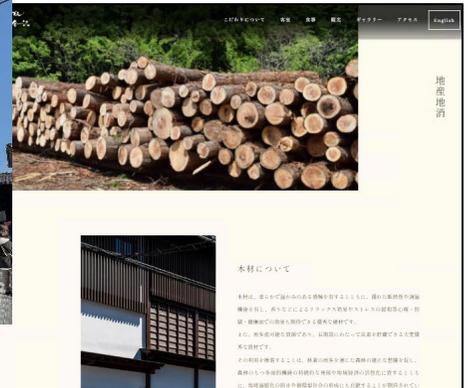


「高層木造ビル事例集令和3年度版」ウッド・チェンジ協議会 高層ビルグループ  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/attach/pdf/wckyougikai-56.pdf>

### 先進木造建築事例の発信事業

建築業界等に対し、金沢の先進木造建築事例を事業者らの想いと共に紹介する。

内容を掲載したHPのQRコードを会報誌等を通して発信することで、中高層木造への理解を広め、機運醸成を高める。



# 3. 令和5年度事業（案）について

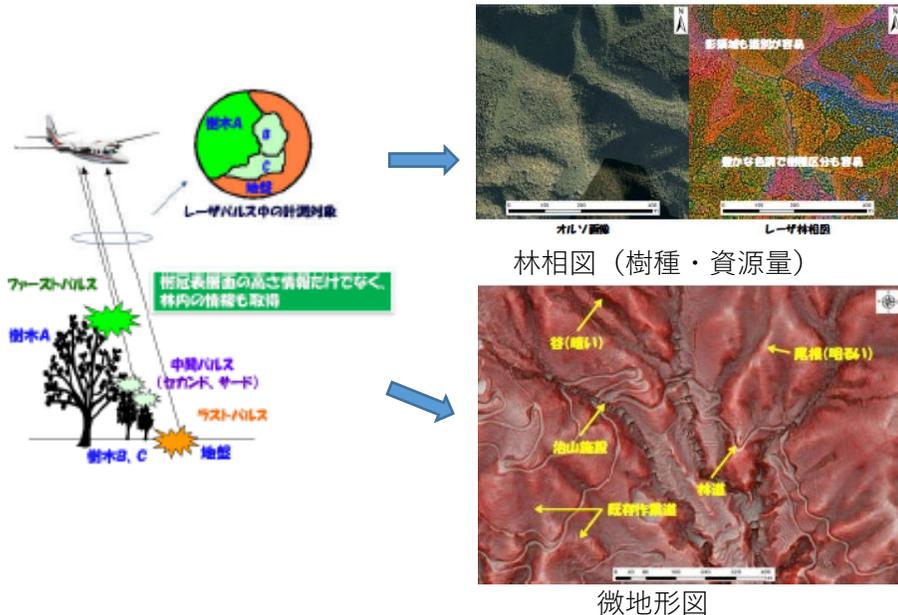
## 4. 森とまちの好循環をつくる

(1) まちとくらしを支える森を整備する

(2) 森の恵みを積極的に活用し、森を循環的に更新する

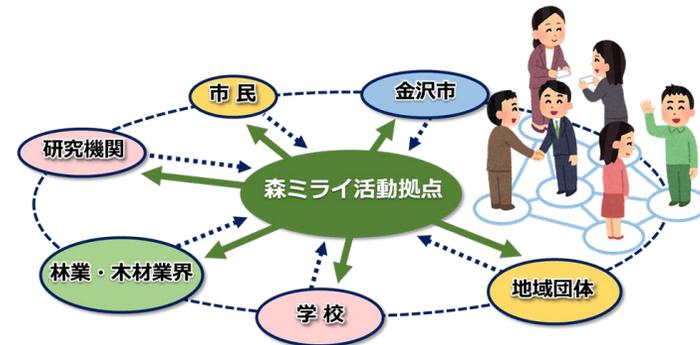
### スマート林業推進事業

地形・樹種・資源量・路網等の森林情報を航空レーザーで計測し、林業経営や森林管理に活用して森林施策の効率化や省力化を図る。



### 森と市民をつなぐ拠点施設整備検討

森との関わりを深める取組を円滑に進めていくため、関係機関等との調整、情報・人材・資源等のマッチング、森林整備や自然体験の支援等を行い、森と人をつなぎ、森を未来へつなげる、多様な活動機能を持つハブ拠点（コア）の創出に向けた基本計画を策定する。



# 3. 令和5年度事業（案）について

5.木の文化を担う主体がつながり、  
ともに推進していく

- (1) 木をめぐる関係者の連携を進める
- (2) 産学官が連携し、木の文化の推進に取り組む
- (3) 広く関係自治体と連携し木の文化を推進する

## まちづくり学生提案モデル事業

令和4年度に学生提案を具現化した「木の場—KINOBA—」を庁舎前広場・金沢駅東広場に設置し、多くの市民や来街者に触れることにより、広く木の文化都市・金沢を発信するとともに、国民文化祭期間中などに合わせ、にぎわいを創出するイベントを実施する。



## 「木の文化都市・金沢ミライまちづくり」 学生提案事業

木に関わるまちづくり提案を学生から募集し、公開プレゼンをおこなう（R4提案件数：6団体）。木の文化都市を創出する取組を通して、建築・デザインを学ぶ学生が、将来の「金沢のまちづくり」に携わるきっかけとなるよう、機会を創出するとともに、今後のまちづくりに新しい発想を活かしていくことを目的に実施する。

